

「仕事」にも不思議な効力がある！

38. “強い愛着”が才能を開花させる

あなたの理想、主義、計画、職業に対して情緒的愛情を持つことも愛の形です。

マーフィー博士は「人間は愛さなければならない」と強制されているわけではないと表現しています。自らすすんで愛する人は宇宙にあまねく神の愛を受け取ります。しかし、その愛を自ら遮る人も多いのです。

愛がなくても生きていけます。けれど、愛のない人生は味気なく喜びも充実感も得られないに違いありません。

自分の理想や主義、計画あるいは職業に、より強い愛着を持つ人がいます。愛が対象を求めるという点で、そういうものに向けられた愛も立派な愛の形と言えるとマーフィー博士は言っています。

「あなたは音楽とか美術とか、大計画とか、事業とか、科学とか、そのほかいろいろな対象を愛せるようになるのです」と博士は言っていますが、強く愛着を持てば、必ずそれは報われます。アインシュタインは物理学の原理を愛したがゆえに、物理学の原理は彼にその秘密を明らかにしたのです。

このように考えると、仕事で成功すること、芸術方面で立派な業績を残すことも、広い意味では愛の実践ということが出来ます。

『愛するということ』という題の著書エーリッヒ・フロムは、愛の対象として親子愛、兄弟愛、母性愛、異性愛、自自己愛の六つをあげています。

人間以外の愛の対象も、それが生きる喜びであり、幸福な人生を送る媒体であるという点で、やはり神の愛に属する愛の一形式と言えるでしょう。愛というものを人間や動物、あるいは目に見える自然や物だけでなく、愛着を持つすべてを対象と考えることで、あなたの愛はますます豊かになり、豊かになつた分だけ人生の喜びが増えていくことになります。

愛を限定しないことです。自分が情熱を注げるものは、すべて愛の対象として慈しむことです。そのような生き方をすれば、あなたの潜在意識はつねに愛に満たされ、あなたは愛する対象から、アインシュタインのように、その秘密を示されるでしょう。人生が思う通りに運ばないと感じている人に不足しているもの、それはただ一つ「愛だけである」と言っても過言ではありません。
